

# JB Customer Report

カスタマーレポート

RISOGRAPH MD  
Prioa

岐阜県内で、実際に機械をご導入いただいたお客様の「生の声」をご紹介します！

取材：営業部 営業企画支援課

## 2色刷りやインクの色味を生かして親しみのある情報誌を届けたい。

### 井上あけみと市民ネットワークをひろげる会 様

多治見市議会議員の井上あけみさんに自宅事務所で使用している、2011年7月に導入したMD6650とLP6950DNについて話を伺いました。



2色刷りや網点処理もタッチパネルで設定



手書きの細かい文字もキレイに再現して印刷



▲青×赤のチラシ

擬似カラーを利用したサンプル▶

一番のこだわりは【手作り感】です。以前は単色の印刷機と追加のカラードラムを使用して、あけみ通信（個人発行の議会だより）の印刷をしていました。両面で各1色ずつ、合計4回の印刷工程が必要で大変な作業でした。

検討時期に2色印刷機をお借りして試したところ、**リソグラフ最高画質の600dpiで写真や小さな文字が非常に綺麗に印刷出来ましたし、印刷工程が半分になり即決しました。**導入したMD6650では“フェデラルブルー”と“レッド”を使用して同時2色を行い、枚数の少ないモノクロ印刷の場合には、レーザープリンター LP6950DNを使用してPCから出力しています。

印刷の一部はPCで原稿作成していますが、見出しや枠などは手書きの優しさにこだわり、手作り感を出しています。全部PC原稿ではつまらないですし、少しでも読んで欲しいですからね。

印刷会社への外注も考えた事もありましたが、ぎりぎりまで内容にこだわって作るには納期と出来あがりに制約のある外注ではダメでした。

現在は、**あけみ通信・青空市・その他のイベントチラシをMD6650で印刷し、紙折機で後処理もしています。**ひとつ希望が言えるなら、選べる基本インクの種類をもっと増やして欲しいですね。出来上がりの色味にもこだわってますから(笑)。

総じてアフターサービスや、使用方法の提案など大変満足しています。